



# マレーシア



## A. マレーシアの感染症情報

### 1 感染症の流行状況

マレーシアでは、次のような病気がみられます。

食べ物・水から感染する病気	虫が媒介する病気	その他の疾患
○腸チフス、パラチフス	○マラリア	○B型肝炎
○A型・E型肝炎	○デング熱	○狂犬病
○赤痢	○日本脳炎	○エイズ
○食中毒	○フィラリア症	○破傷風
○寄生虫疾患		○レプトスピラ症

マレーシアは、赤道に近いので熱帯性気候に属しています。気候は半島部とカリマンタン島で若干の差があります。一般に9～1月の北東モンスーンと5～9月の南西モンスーンに分かれますが、雨量に差があるだけで気温に差はありません。

このような気候ですので、消化器系の感染症やその他の感染症の流行にも目立った差はなく、一年を通して発生している状況です。熱帯・亜熱帯地域特有の病気であるマラリアは、マレー半島やカリマンタン島の山間部に発生しています。同じように蚊によって媒介されるデング熱はマラリアとは逆に山間部には少なく、都市部に多く流行が見られます。

◎2004年、全国の空港検疫所でマレーシアから帰国した旅行者1名から赤痢菌、20名から食中毒菌が検出されています。また、感染症発生動向調査によると国内でマレーシアから帰国した旅行者における感染報告はありません。(国立感染症研究所：感染症週報より)

### 2 マレーシアでの病気の予防方法

マレーシアでは様々な感染症や風土病がありますが、都市の観光であれば、食事や飲み物に注意し体調を整えておくだけでも、かなり病気の予防ができます。

そこで病気を予防する上で注意したいことを紹介します。

#### (1) 注意したい食べ物

- ◎アイスカチャン： 日本のかき氷のデラックス版。暑い時にはとびっきり美味しいのですが屋台はもちろんのこと、ホテルやレストランでも食べるのは避けてください。食中毒菌に感染する恐れがあります。
- ◎生 も の： 日本と同じようにマレーシアで刺身・生ガキなどを食べるのは、たとえ一流レストランや高級ホテルでも油断できません。新鮮に見えても食中毒の危険があります。

◎生 水・氷： マレーシアで供給される水は良質で、都市における水道の設備も整っていますが、全てが安全というわけではありません。また、やや硬水なので軟質の水に慣れた日本人では一過性の下痢を起こすことがあります。生水は飲まないようにしましょう。地方では井戸水に頼っている所があるので飲まないほうが無難です。水が欲しい時は、ミネラルウォーターやボイルドウォーターと言って注文することです。また、氷は生水から作られることも忘れてはいけません。

#### (2) 注意したいこと

◎野 犬： マレーシアの都市部ではまれですが、地方では数はさほどではありませんが狂犬病ウイルスを持った犬がいますので、近付くのは避けましょう。万一、野犬などの動物にかまれたら、すぐに信頼できる病院で、狂犬病発病予防のためのワクチンを接種しましょう。

◎夜の遊びすぎ： マレーシアでも安易なセックスは禁物です。特に『自分は大丈夫』という感覚の人が多いのですが、1度で感染する事もあることをお忘れなく。

◎蚊 に 注 意： マレーシアには、マラリアやデング熱と言った蚊によって感染する病気があります。マラリアは、夜に吸血するハマダラカ、デング熱は日中吸血するネッタイシマカによってそれぞれ媒介されます。蚊に刺されないことが予防方法として有効ですので、防虫スプレーや殺虫剤を使用し、肌を露出しない服装をするなどして蚊の予防を心掛けてください。

### 3 予防接種

黄熱リスク国から入国する際には、入国時に黄熱の予防接種証明書が要求されます。黄熱リスク国は下記参照、または、検疫所にお問い合わせください。

[http://www.forth.go.jp/tourist/useful/O1\\_yobou.html](http://www.forth.go.jp/tourist/useful/O1_yobou.html)

また、一般にA型肝炎、破傷風、日本脳炎、狂犬病などの予防接種が勧められます。

予防接種は、これまでの予防接種歴、滞在期間、旅行形態、出発までの期間でかわりますので、

詳しいことはお近くの検疫所にお問い合わせください。

### 4 マラリア情報 ( WHO INTERNATIONAL TRAVEL AND HEALTH 2003)

奥地の限られた地域にのみ危険があります。都市部と沿岸部地域には、危険がありません。

熱帯熱マラリアは、発病早期なら治療可能ですが、放置すると重症化したり死に至る熱病です。流行地滞在中および滞在後4週間以内に38℃以上の熱が出たら、医療機関でマラリアの相談をしてください。



マラリアに有効なワクチンはありません。感染リスクが高く医療機関の無い地域に滞在する場合にはマラリア予防薬を服用する方法があります。服用の際には副作用に注意が必要です。この地域では、メフロキン(Mefloquine, 商品名 メファキン Mephaquin, ラリアム Lariam など、週1回服用)が有効です。日本でも認可されており、医療機関での処方となります。

## ペナン

Island Hospital  
(アイランド・ホスピタル) : 住所 : Kingfisher Park, Kuala Inanam, 88840  
Kota Kinabalu, Sabah  
TEL : 60-88-424333 日本語不可

## コタ・キナバル

Sabah Medical Center: 住所 : Kingfisher Park, Kuala Inanam, 88840  
Kota Kinabalu, Sabah  
TEL : 60-88-424333 日本語不可

在マレーシア日本大使館 : Embassy of Japan,  
11, Pesiaran Stonor,  
Off Jalan Tun Razak,  
50450, Kuala Lumpur, Malaysia.  
TEL (60-3)2142-7044  
<http://www.my.emb-japan.go.jp> (英・日)

在ペナン日本総領事館 : Consulate-General of Japan,  
Level 28, Manara BHL,  
No.51 Jalan Sultan Ahmad Shah, 10050 Penang,  
Malaysia.  
TEL (60-4)226-3030

在コタ・キナバル日本領事館 : Consulate-General of Japan,  
18th Floor, Wisma Perindustrian,  
Jalan Istiadat, Likas 88400, Kota Kinabalu,  
Sabah, Malaysia.  
TEL (60-88)254169

クアラルンプール	警 察・救急車	局番なし 999
ペナン	警 察・救急車	局番なし 999
コタキナバル	警 察	局番なし 999 救急車 (TEL 50555) 火 災 (TEL 55999)

## 2 帰ってからの過ごし方

帰国して最初に受けるのは検疫です。滞在先で下痢、腹痛、発熱など体に異常があれば健康相談室で相談してください。赤痢やコレラでも軽い症状ですんでしまうことが多いのですが、感染力は思ったより強いので、自分で大丈夫と思っていても家族や会社の人に感染することもありますので・・・。

また、潜伏期間といって感染してから一定の期間たないと発病しない病気が数多くあります。検疫時は何ともなかったのに数日してから症状が出ることもあり、その時（症状が出た時）には、速やかに医師の診察を受けましょう。診察を受ける際には滞在した国と期間、蚊やノミ、ダニに刺されていたらそのことや、食べたものについても説明されると診断の役に立ちます。

ご意見やご質問があればお気軽にご連絡ください。

## B. マレーシアの医療情報

### 1 病気になった時

#### (1) 処置

マレーシアでは、赤痢、マラリア、デング熱など、日本とは異なる感染症が発生することがあります。抗生剤の乱用などの素人療法で逆に治療が遅れ、取り返しがつかなくなる危険があります。一時的に日本より持参した市販薬を使用するのは差し支えありませんが、体調に異常がある方は速やかに現地の病院を受診してください。

#### (2) マレーシア国内の医療機関

医療機関が整備されており、特に技術的なレベルを心配する必要はなく、一流の病院は安心して診療を受けられます。ただし、国公立病院は料金が安いので、待ち時間が日本と同様に長く、在マレーシア邦人は私立病院へ行くケースが多いようです。

マレーシアでは、通常、一般開業医の診察を経て、総合病院に紹介してもらうのが一般的ですが、直接予約する事も可能です。風邪などの軽い病気の場合はクリニック（個人開業医）を利用されると良いでしょう。

なお、日本と違い健康保険がききませんので風邪でも数千円から数万円請求されることがありますので、できれば海外旅行傷害保険に加入することです。

参 考：外務省 在外公館医務官情報（2004年7月）

#### クアラルンプール

Subang Jaya Medical Center (スバン・ジャヤ・メディカル・センター):	住所：No.1, Jln SS12/1A, Sebang Jaya, PJ 47500 Selangor TEL：03-5634-1212 邦人1名（看護師）及びマレーシア人（日本語可） 24時間救急受付
Pantai Medical Center (パンタイ・メディカル・センター):	住所：No.8, Jln Bukit Pantai, 59100, Kuala Lumpur TEL：03-2296-0888 日本語での診療可能。 24時間救急受付
Japan Medicare Clinic (ジャパン・メディケア・クリニック):	住所：107 & 109, Jalan Maarof, Bangsar, 59000 Kuala Lumpur TEL：03-2287-0988 日本語での診療可能。邦人2名（看護師）勤務
Gleneagles Intan Medical Center (グレンイーグル・インタン・メディカル・センター):	住所：No.282 & 286, Jalan Ampang, 50450 Kuala Lumpur TEL：03-4257-1300 邦人2名（看護師）勤務 24時間救急受付